

法人委員の方は、人数に制限なく出席できます。
個人委員・特別委員の方は、本人または代理の方（1名）が出席できます。
フェロー委員の方は本人のみが出席できます。

【会告】「2013年9月(9月27日(金)開催) 研究例会」

生産自動化専門委員会委員長 大隅 久

2013年9月の例会は、「若手技術者のためのカムを用いた自動機設計」を主題として4件の講演を企画しています。

近年、サーボ技術が発達してややもすると忘れがちなカム機構であるが、メカニカルで単純な構造を持っており、サーボを用いずに動作が可能である等その利用価値が高い。

そこで若手技術者にもカム機構の有用性を理解してもらい自動機設計に役立てて欲しい。

9月研究例会は山梨大学 寺田英嗣氏のご尽力で企画されました。

多くの出席を期待します。

1. 日時：2013年9月27日(金) 13:00～17:15
2. 主題：「若手技術者のためのカムを用いた自動機設計」
3. スケジュール：

(1) 13:00～14:00 講演【1】

[講演題目] 20世紀後半に生まれたカム技術－機構の多様化と高速化－

[講師] 西岡 雅夫 氏（西岡機構研究所 所長）

[講演概要] 近年、機械工学、機構学の進歩は必ずしも著しいものではない。およそ500年の歴史を持つ、カム機構の直近の10%の進歩を振り返り、カム機構が得意とする高速化のためのいくつかの新技术を紹介する。

(2) 14:00～15:00 講演【2】

[講演題目] 自動機へのカム応用例

[講師] 若林 栄樹 氏（㈱オーテックメカニカル 代表取締役社長）

[講演概要] 自動組立機、検査機等におけるワークの移載や姿勢変更等の機構にカムを応用した実例を紹介。又、高速化による加速度の影響を軽減する為に行ったカム曲線の工夫を紹介。

HP <http://www.autec.co.jp>

-----休憩-----

(3) 15:15～16:15 講演【3】

[講演題目] カムメーカーに対する顧客の要求

[講師] 河野 誠介 氏（徳島カム株式会社 代表取締役）

[講演概要] ①高速機械要素としてのカム、②専用機の部品としてのカム、③サムソンなどのリバーズ設計対抗手段の一つとして機械技術として有力なツールを利用、研究することは企業、技術者にも役立つ。

HP <http://www.tokushima-cam.co.jp/>

(4) 16:15～17:15 講演【4】

[講演題目] カムの応用としての非円形歯車

[講師] 香取 英男 氏 (テクファ・ジャパン株式会社 代表取締役)

[講演概要] 非円形歯車は、カムと歯車の両特長を併せ持つ機構である。

滑らかな不等速な回転伝達が簡単に得られるので、うまく応用すれば、カム機能にない性能を発揮できる。

本講では、非円形歯車機構の設計の手順や製作の方法を概説し、いくつかの応用例を紹介する。

HP <http://www.tecpha.com>

4. 場所：中央大学 理工学部（後楽園キャンパス）6号館7階（6701号室）

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

（大隅研究室連絡先）Tel: 03-3817-1824, Fax: 03-3817-1820

- 【交通】・東京メトロ・丸の内線，南北線
「後楽園」駅下車徒歩3分，
・都営地下鉄・大江戸線，三田線
「春日」下車徒歩5分，
・JR中央線「水道橋」駅下車
徒歩15分

【6号館の位置】 ◆◆ [右図参照] ◆◆

5. 出席連絡先：

添付ファイル「出席連絡票」に所定事項をご記入の上、事務局補佐 岩佐まで E-mail または FAX でご連絡をお願いいたします (9月20日(金)迄)。

Tel/FAX：0797-52-1892

携帯：090-5037-3051

E-mail：seisanji@dk2.so-net.ne.jp

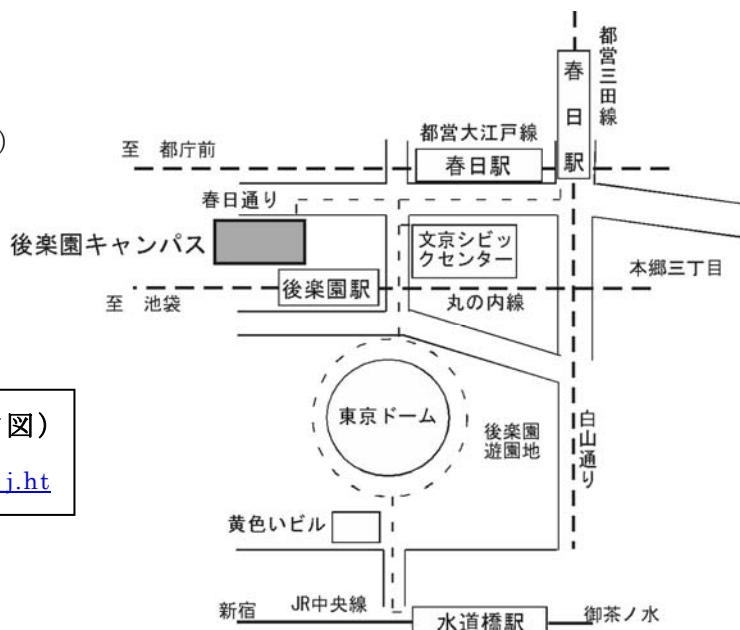
6. 9月研究例会問合せ先：

寺田英嗣 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)

E-mail：terada@yamanashi.ac.jp

Tel/Fax：055-220-8452

会場は
中央大学6号館7階6701号室



(右図：中央大学 後楽園キャンパスと6号館の案内図)

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.ht